

・休業4日未満事故・災害

16284M 事務・図書系職員（女性：51歳）；自転車で出勤途中、大学構内の下り坂で転倒し、頭部左側を打ち出血。2針縫合。休業3日。

・不休業事故・災害

16264F M1院生（男性：22歳）；誘導結合プラズマ質量分析装置測定用に調整した希薄フッ酸水溶液（250ppm）の容器に蓋をする際、手をすべらせ30ml程をズボンの上にこぼした。直近のトイレ内にある緊急シャワーで10分程度洗浄し病院を受診した。

16273F D1院生（男性：26歳）；研究発表会場へ徒歩で向かっていた途中、車道を横断する際、誤って足を引っ掛け転倒。両腕を骨折。

16277F 技術・教室系職員（女性：26歳）；液体ヘリウムの汲み出し作業で充填完了後、容器の口に栓をする際、噴き出していた低温の蒸気に手が触れ、右手親指に軽度の凍傷。

16281F 派遣職員（女性：26歳）；岩石試料を、四ホウ酸リチウムを用いて白金るつぼ中で融解させる作業終了後、るつぼから融解物を剥がす際に融解物の縁で左手親指を切傷。

16282F 学部4年（男性：23歳）；有機合成反応実験の準備段階で、4つ口フラスコの1つの口にヒビが入っていることに気づいたが、そのまま実験を行い、反応終了後、フラスコのすり栓を外そうと力を入れた際、ヒビの入った部分を持っていたため握りつぶす形でフラスコの口が折れ、左手小指を切傷。全治8週間。

16285F M1院生（男性：22歳）；ドラフト内で蒸留装置を組み立てていた際、ガラス製フラスコに過度な力がかかりフラスコが割れ、左手小指を裂傷。4針縫合。

16289F 学部3年（女性：21歳）；解剖実習中にメス刃で指先を突いた。

・通勤災害

16276J 技術・教室系職員（男性：43歳）；国道を自家用車で通勤途中、凍結路面でスリップし、民家の石垣に車体が接触した。

16278J D1院生（女性：25歳）；自転車で通学中、高齢とみられる学外者の自転車を横から追い抜いたところ、相手が驚きバランスを崩し接触。本人にケガなし。相手方は転倒により負傷し救急搬送。

16279J 学部4年（男性：22歳）；自転車で通学中、商店街の中の十字路を直進する際、左側から飛び出してきた自転車と衝突。ケガなし。

16286J 事務・図書系職員（男性：29歳）；自転車で通勤途中、かごに入れていた手荷物でバランスを崩し転倒。手首を剥離骨折。

16287J 特任教員（男性：33歳）；自家用車で帰宅途中、緩やかに右にカーブした長い下り坂の雪道でスリップしガードレールに接触。車の左側ヘッドライト、左側ブレーキランプカバー等の破損。

・ヒヤリハット

16275H 流し台脇に設置されているガスバーナー付近で焦げ臭があり、バーナーから離れたところで焦げたキムタオルと発泡スチロールを発見、炎は上がっていなかったが水道水で消火した。原因不明。

・その他

16272S 東大組織外（女性：40歳）；構内でT字路脇の横断歩道を横断中、右折してきたトラックの左前ミラー付近と衝突し、転倒。軽傷を負った。

・設備災害のみ

16274Ns 無人の実験室で、終夜連続実験装置の電源ケーブルの折れ曲がっていた部分がショートして出火、周囲の可燃物に引火した。火災報知器の発報で警備員が急行したが、煙で入室不可能のため119番通報。消防による放水で約35分後に鎮火、卓上フードと天井（約20平米）を焼いた。

・設備災害でない機器・施設損傷あり

16283Nd 業務協力者（男性：67歳）；坑内通路で車を後退させる際、側壁に設置されているフック状の金具に気が付かずリアウインドウに接触し、ウインドガラスを破損。人的被害なし。

16288Nd 特任教員（男性：44歳）・助教（男性：40歳）・特任教員（男性：36歳）・研究員等（男性：33歳）・雇用外研究員等（男性：40歳）；実験治具を洗浄用エタノールとともに袋に入れて超音波洗浄機を用いて洗浄中、焦げたような異臭に気付いた。超音波洗浄機の電源が消え止まっていたため内部を確認したところ、フューズが断線しトランジスタ回路が焦げていた。

・設備災害でない有害物（臭）流出あり

16290Ni 教授（男性：48歳）・派遣職員（男性：41歳）；液体窒素供給量の調節のため研究者が1日3交代24時間体制で監視している実験室の冷却機構において、アラーム設定変更ミスにより、冷却機構が発動したにもかかわらず監視者が液体窒素の流入開始に気が付かなかった。その結果、大量の蒸発窒素ガスが排気パイプに流れ、塩化ビニール製部分が破損して実験室内に漏えいした（10㎡以上）。室内の酸素濃度計の数値は20.6%から19.8%まで低下した。

以上 教養学部等環境安全管理室